



アウトプットでみんなが笑顔！

あつまれつながれ和木愛あいプロジェクト

和木町立和木小学校

1. チャレンジポイント

○自分たちの学んだことや考えたことで、母校の150周年を祝い、お客さんを楽しませる。

○地域の皆さんに感謝の気持ちをもっておもてなしをすることで、人とつながり、和木町をもっと好きになる。

2. 取り組んだこと

(1) 地域の皆さんをおもてなしするために、自分たちでできることを考える。

開校150周年記念式典後に、来校して下さった地域の皆さんをおもてなしするために各学年でできそうなことを考え、生活科や総合的な学習の時間を使って、地域の方の協力も得ながらおもてなしをするための学習を行い、準備を進めた。



5年生 プログラミング
してみませんか？



6年生 お茶の心で
おもてなし

(2) 児童会企画として全校児童でおもてなしの準備をする。

代表委員会で、この企画の名前を「未来へつながる笑顔と希望の150祭(さい)」とし、活動場所や広報の仕方などを話し合った。

(3) おもてなしで、みんなを笑顔にする。

開校150周年記念式典当日の午後、来校して下さった地域の皆さんをお迎えし、学習したことをアウトプットしておもてなしをした。お客さんに楽しんでもらうために、どの学年もアイデアを出し合い、自分たちも「楽しい」と思える運営をするよう協力して取り組んでいた。



1年生 みんなあつまれ
あきパーティー



2年生 和木町カルタで
すてき再発見

3. 取り組んだ成果

児童会企画の当日を、個々の児童が相手に伝えたり、教えたりする場として意識し、「伝えられる自分の姿」を目標にして学習に取り組むことができた。

このことにより、「表現」する目的が明確となり、「どう言えば分かってもらえるか」という相手意識と、「どのように伝えるか」という思考が働いていた。そのことは、学校課題である「表現力の育成」に向けた一助となった。また、自分たちが設定したコミュニケーションの場で地域住民と関わる機会をもてたことで、自分たちが住む地域への愛着をさらに深めることができた。



3年生
福祉について考えよう

4. 思ったこと、感想

150周年を活用して、各学年の児童に目標が共有され、強いシェアリーダーシップが発揮された。「大人に対して教える」という経験ができたことから、アウトプット体験を通して子どもたちが自己有用感をもち、生き生きと学習に向かうことができた。一方、地域の大人も自分たちが教授けたことを子どもたちが咀嚼して子どもの言葉と表現でアウトプットする姿を見て、笑顔があふれた。地域連携教育のすばらしさを地域が実感し、さらに地域が学校に関わろうとする声が聞かれ、地域が元気になっていくように感じた。今後も、上昇スパイラルをつなげていきたい。



4年生
音楽劇でおもてなし

5. 今後に向けて

今回、開校150周年記念事業として行ったこの企画を、平素の学びの中で地域住民の参加を得て展開していきたい。また、地域での行事に子どもたちが参加し、「地域の先生」となる機会を、子どもたちが主体的に見つけられるよう支援し、実現させることで、ふるさとへの愛着をさらに高めていきたい。



安下庄を元気に！ふるさと活性化大作戦！！

～よみがえれ安下庄湾～

周防大島町立安下庄小学校

1. チャレンジポイント

- 地域の方からの講話や海岸清掃・海上からふるさと見学（大島丸乗船）などの体験活動を通して、ふるさとの海の現状を知る。
- 学んだことをもとに、自分たちにできることを考え、活性化プランを作成する。

2. 取り組んだこと

(1) 海の形グループ

- 安下庄の海の地形
- 安下庄の海の働き
- 安下庄の海の動き
- 海と月の関係

- 1 潮の速さ、提案
- 2 風向きの特ちょう
- 3 他の海と比べる
- 4 安下庄の良さを提案



(2) 海のごみグループ

- ごみの種類と場所
- 昔と今のごみ
- 毎年のごみの量の変化



(3) 海の生き物グループ

- 魚のえさは何か。
- 今と昔の魚の量
- どんな魚が採れるのか

- 言周べてみて
- ・たくさん種類がいた。
 - ・魚の量が変わっている。
- ↓
- 提案 海をきれいにする。
- アマモを育てて魚の住みかを増やす。



(4) 海の歴史グループ

- 今と昔の海の違い
- 魚の量の違い
- 今と昔のイワシ漁
- 今と昔の量の仕方



- ・ゴミを分別する
- ・せつ電をする
- ・車をなるべく使わない



3. 取り組んだ成果

- ふるさと安下庄の豊かな海の環境を知った。
- 調査活動を通して、海のごみ問題に気付いた。
- 生息する魚の変化を知り、生態系への関心をもった。
- 魚の量と採れる時期の変化を知り、環境への働きかけの必要性を感じた。



4. 思ったこと、感想

- ・ 大島丸から見た安下庄の海は、とてもきれいで、ふるさとの海のすばらしさに気付いた。
- ・ 安下庄の海のすばらしさをたくさんの人に伝えていきたい。
- ・ 豊かな海を未来につなぎ、さらに発展させていくために、自分たちのできることを考えたい。

5. 今後に向けて（提案）

- ・ 調査活動の継続
- ・ 海のごみゼロ運動
- ・ 魚倍増プラン
- ・ 地球も元気に





平生のよさを地域や町外の人に発信しよう！ めざせ、イタリアーノひらお観光大使！

平生町立平生小学校

1. チャレンジポイント

平生のよさについて、自分たちの学んだことを自分たちの言葉で説明する。



2. 取り組んだこと

(1) 学校・地域連携カリキュラム「ふるさとを愛し、ふるさとから愛される平生っ子の育成」

1年 平生の人たちとふれあい隊



2年 平生の人たちをしり隊



3年 平生のすてきをみつけ隊



4年 平生の人たちの生き方をまなび隊



5年 平生の平和をつくり隊



6年 平生の未来をつたえ隊

課題 人口減少により「平生町」がなくなる可能性がある！

→ 平生町の魅力をたくさんの人に発信 → 観光大使として平生を元気にしたい!!

● 場所ポストチーム

「平生の魅力がたくさんつまったすてきな周遊コースを作成!!」

① フォトフレーム制作

・思わず写真を撮りに行きたくなるフォトスポットを新設!!



② 平生の魅力マップ

・平生町満喫コース



【周遊コースづくりを通して】

- ◇自然以外の魅力を発見できた。
- ◇多くの人に平生に来てほしい。

● 歴史ストリアチーム

「平生は昔、海だった?!」

平生には干拓された歴史があり、その証を追究する。

① 常夜燈

・沼八幡宮の大きな常夜燈



② 干拓の歴史

・横道忠右衛門さんが干拓

③ 地名探し

・海を連想させる地名

④ VR

・昔の海をVR映像で再現!!

⑤ 防災

・平生が昔、海だったとういことは…平生は浸水害に弱い。
・より住みよいまち平生にするためには…



【歴史の追究学習を通して】

- ◇横道忠右衛門さんに感謝!
- ◇日頃からの防災意識が大切!!

● 食チーポチーム

「平生町の食材でオリジナルレシピを創作!!」

平生町の食材について調べ、その特徴をいかしオリジナルレシピを創作する。

① オリーブなど平生の食材調査

・オリーブしぼり体験
・青パパイヤの特徴

② オリジナルレシピの創作

・平生の食材をつかい、イタリアーノひらおをイメージ



情熱イタリアーノカレー

イタリア風平生っ子サラダ

暑さ吹っ飛ばしハッピー!!

笑う門には平生パフェ来る。

【レシピの創作活動を通して】

- ◇平生の食材について知れた。
- ◇ぜひ多くの人に食べてほしい。

3. 取り組んだ成果

- 地域の方々へ向けて平生のよさについて、自分たちの学んだことを自分たちの言葉で説明することができ自信につながった。
- ふるさとがさらに好きになり、平生の未来のために考え、何か自分にできることをしたいという思いが高まった。



4. 思ったこと、感想

- ・今まで気づけなかった平生町の魅力に気づけた。(児童・地域)
- ・地域の方が共に考え活動してくださりとっても心強かった。(児童)
- ・子どもの生の成長が横で感じられ大きな喜びだった。(地域)
- ・一緒に活動して、ともに学びの場になっている。(地域)
- ・平生町についてよく調べておりすばらしい。感謝している。これを受けどういった取組ができるか検討したい。(町長)

5. 今後に向けて

- ・平生のよさをいろいろな人に伝えていきたい。
- ・平生のよさについて県内の人や観光客に観光大使として紹介したい。
- ・もっと平生を活気ある町にしたい。

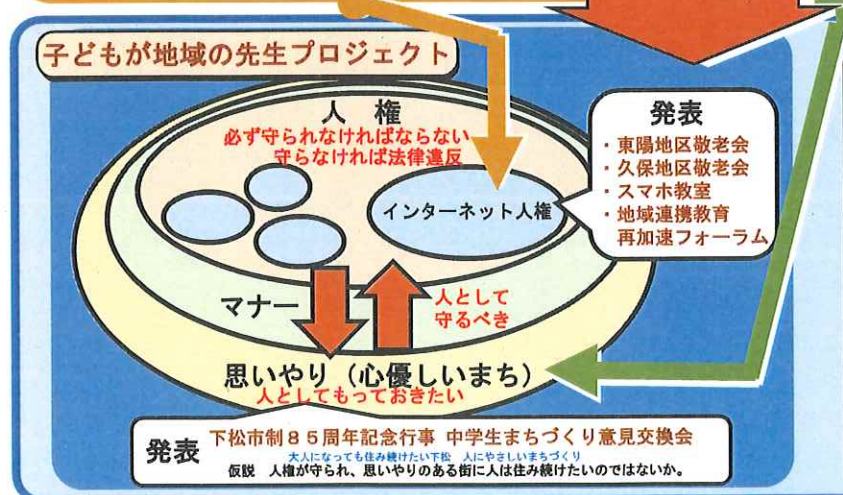
インターネットにおける地域の人権課題を解決しよう!

下松市立久保中学校

1. チャレンジポイント

- インターネットの使い方を切り口として、地域課題としての人権問題の解決を図る。
- 全校生徒で取り組み、地域の啓発活動を行う。
- 全校生徒で制作した啓発ビデオを使い、作成したビデオで具体例を示しながら人権問題の解決を図る。
- 地域の集まりで地域の方に寄り添いながら教える取組と、市の行事を活用し市全体に呼びかける取組を行う。

2. 取り組んだこと



3. 取り組んだ成果 **成果**

- 敬老会やスマホ教室、「下松市『人権』を考えるつどい」で人権問題の解決に向けた啓発を行い、「市制85周年まちづくり意見交換会」(市長へ提案)で人権問題の解決を支える心優しいまちづくりを市民に提案した。市民に人権問題を考えるきっかけをつくった。
- 「久保中学校インターネット人権宣言」をもとに、地域に発信する内容を話し合う過程で、地域の人権課題が明らかになった。

4. 思ったこと、感想

地域の人権課題としてのインターネットにおける問題の解決に取り組んできた。取組が進むほど、インターネットは問題の舞台であるだけで、課題は日常生活の中にあるものと同じであることを実感した。また、高齢者に教えてみて初めて、インターネット上の知識は中学生にとっては常識でも、高齢者にとっては初めて聞く知識であることがあり、啓発には更に工夫が必要であることを感じた。

5. 今後に向けて

インターネットにおける人権問題解決の啓発ビデオを制作したが、高齢者や低学年の小学生にとってもより分かるビデオに改良したい。また、今回は中学生が中心となって取り組んだが、来年度は小学生と協力しながら取り組んでいきたい。



みんなでみんなの命を守ろう～西浦守り隊の防災教室～



防府市立西浦小学校

1 チャレンジポイント

- ① 防災についての正しい知識と考えをもって行動し、自分の言葉で防災について語れるようになるよう！
- ② 子どもも大人も「西浦に住んでいる人の命をみんなで守る」という自助・共助の意識を高めよう！

2 取り組んだこと

知ろう！学ぼう！西浦の防災

「いつかくる」ではなく「明日かもしれない」巨大地震と津波～防災対策の必要性を学ぼう～ 防災対策部部長さんのお話



- ・南海トラフ地震や津波について
- ・西浦地区の防災対策の現状
避難所、備蓄品、要支援者の避難方法
ハザードマップ配付、防災訓練

話し合おう①！どうやって逃げる？

架空の街で大地震・津波発生！どこへ・どのルートで・どのように逃げる？自治会長さん、防災班長さん、民生委員さんと熟議



- ・下関地方気象台の方からの地震や津波のお話
- ・架空の街で大地震・津波発生！設定場所からの避難（避難場所・ルート・避難方法など）の話合い

話し合おう②！地区のみんなと

住んでいる所は大丈夫？ 近所の人と助け合おう！子どもと大人の防災熟議



- ・住んでいる地区に分かれ、防災の視点で地区の危険場所の確認
- ・ハザードマップ津波版から、避難場所・ルート・避難方法の話合いにより、大人も子どもも自助・共助の意識の向上

やってみよう①！合同避難訓練

学校は地域の避難所！ 私たちも主体的に避難誘導しよう



- ・学校地域合同 地震津波対応避難訓練
- ・緊急地震速報→大地震発生→身を守る行動→大津波警報発令→1時間後に津波到達予報
- ・停電の中、3階への避難、園児誘導
- ・園児への地震・津波が起こったときの行動のとり方のお話やクイズ

3 取組の成果

- 西浦地区のみんなのために、自助だけでなく共助の意識をもち、自分ができることを進んでやっていく思いを強めた。
- アンケートから「課題発見力」や「協働意欲」「思いやり」が向上した。
- 大人も子どもも相手意識をもち積極的に関わり合おうとする姿が見られ、「つながり」の活性化の一助となった。

4 今後の取組

☆やってみよう②！地域の人に伝えよう！完成した防災マップを地区の回覧板に載せたり、支援が必要な方のお宅にうかがい、避難の仕方などをお話したりする。

みんなでみんなの命を守る西浦





誠実 勤勉 礼儀

子どもも大人も地域の魅力を知る職場見学

山陽小野田市立高千帆中学校

1. チャレンジポイント

- 見学した職場の魅力が伝わるように工夫を凝らしてスライドを作り、発表する。
- 発表会には保護者や地域の方に参加していただき、意見交換で交流を図る。

2. 取り組んだこと

(1) 9つの職場に分かれて職場見学 (R6.10)

〔一次産業〕 ○グリーンハウス ○二井観光ぶどう園

〔二次産業〕 ○中国電力新小野田発電所 ○学校給食センター ○日産化学 ○明石被服興業

〔三次産業〕 ○石井手保育園 ○宇部・山陽小野田消防局小野田消防署 ○特別養護老人ホーム高千帆苑



〔グリーンハウス〕



〔明石被服興業〕



〔宇部・山陽小野田消防局
小野田消防署〕

(2) 「職場見学」発表会 (R6.11)



3. 思ったこと、感想

- ・会社があることは知っていたが初めて工場の様子を知った。(大人)
- ・ネギの周りの白い粉(ブルーム)は、ネギ自身が温度調節をするためのものを知って、野菜のすごさを知った。(生徒)
- ・あんなに沢山のネギを作っているのに、機械ではなく手で収穫していると聞いて勉強になった。(大人)
- ・近所で見かける子がしっかり発表しているのを見て、成長したなあと感じた。(大人)

4. 今後に向けて

「見ていただくこと」+「話しあう」=「交流ができる」と実感した「職場見学の発表会」。

地域の方々と交流する機会は、見まわせば意外にあると感じた。機会を捉えて交流が図れるよう工夫し、地域との交流を続けていきたい。

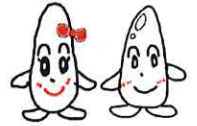


日置愛サイコー！ 日置の元気プロジェクト

長門市立日置小学校

1. チャレンジポイント

- 地域のよさを表現し、日置愛を深める。
- 日置を元気にする取組を通して、地域の大人とつながる。



2. 取り組んだこと

1年生 へきの人とつながる

保育園と秋見つけをしたよ。



高校生とお菓子を作ったよ。

地域の方と一緒に、ひまわりを植えたよ。



保育園とおもちャントで盛り上がったよ。

2年生 日置の町とつながる



地域には、いろいろな所があるね。

野菜を植えたよ。収穫した野菜は、地域のお店で販売しよう。



3年生 日置のスゴイ！を発信



地域の方とふれあい活動 皆さんの元気がスゴイ

特産品日置スガもとても甘くてスゴイ！！



4年生 日置のステキ！を発信



地域の川で水辺の教室 いろいろな生き物が見つかったよ。とてもステキなふるさとだね。



地域で働く素敵な人たちにインタビュー！

学校田で稲刈をしたよ。

5年生 日置の農業とつながる

- 〈日置小伝統の米作り〉
- ・米作りについて知る
 - ・準備(溝そうじ等)
 - ・粃まき、箱苗プール作り
 - ・田植え
 - ・草刈り、水管理
 - ・地域の方の水田を見学
 - ・稲刈り収穫



地域の方々との協力

お世話になっ た方々にお礼しさをアピールしたい！

スマイルおむすびプロジェクト

収穫したお米で地域の人を元気にしよう

地域の産物を使ったおむすびを考えて、参観日にプレゼン

- ★スマイルおむすびプロジェクト
- ・コンテスト①
 - ・お米の販売(11/3)
 - ・コンテスト②
 - ・コンテスト③(11/16)
- ★おむすび販売(3学期)

6年生 日置の元気とつながる

〈ふるさとの過去・現在・未来〉

- 日置の“よさ”を見直そう
 - ・歴史、文化、自然等
- 日置の“よさ”を伝えよう
 - ・参観日、ふるさと祭り等
- 歴史をひも解こう
 - ・「ヒストリアながと」見学
 - ・遺跡、神社、文化財
- 歴史や文化を伝えよう
 - ・パンフレット作成、配付(11/3)
 - ・劇、ポスターセッション(11/16)
- 日置の未来を考えよう
 - ・地域活性化の取組
 - ・私たちが創る未来



日置の歴史を調べる



調べた日置のよさを地域の人に知ってもらいたい！



日置の未来を考えよう

全校の取組〈常時活動〉

- ・環境の日(清掃活動)
- ・すてきなスイカようび
- ・ブッククラブ
- ・日置ちょこ学校

地域の方と運動会



日置の魅力発見遠足



日置ふるさと祭り出演・出店



地域参観日



3. 思ったこと・感想

- ・日置のお米で作ったおむすびプロジェクトは、地元愛を感じてもらえた。
- ・地域の方が笑顔になってくれて嬉しかった。地域の方が意見を言ってくれて、私達も、もっとよく分かった。
- ・地域の方から、「もっと日置が好きになった。」「興味がわいてきた。」と言われた。私たちの思いが伝わってとても嬉しかった。

4. 取組の成果

- ・地域の人とのつながりがこれまで以上に強くなった。
- ・日置の元気を高め、地域全体で日置愛を深められた。

5. 今後に向けて

- ・地域とのつながりと発信を持続し、「日置」について考えていくことで、日置の人がもっと誇れる日置にしていきたい。